



## スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

2020年7月31日

## お知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は  
株式会社格付投資情報センターの選定による「R&Iファンド大賞2020」において  
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で  
「最優秀賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は  
「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」において  
「投資信託 株式部門 最優秀会社賞」を2年連続受賞しました。  
(直近7年間では6回目の受賞です。)



### REFINITIV LIPPER FUND AWARDS

2020 WINNER  
JAPAN

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperalpha.refinitiv.com/lipper/](http://lipperalpha.refinitiv.com/lipper/)をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードについて

世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、[lipperalpha.refinitiv.com/lipper/](http://lipperalpha.refinitiv.com/lipper/)をご覧ください。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

# スパークス・韓国株ファンド

## (愛称:韓国厳選投資)

**特化型** マンスリーレポート

基準日 2020年7月31日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

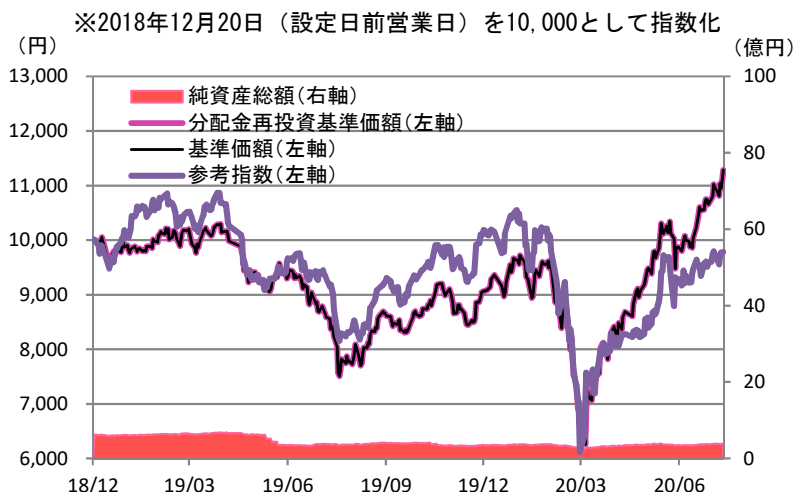
### 【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)	
	ファンド	参考指数
過去1か月間	14.28	5.56
過去3か月間	29.95	18.23
過去6か月間	22.38	3.59
過去1年間	33.99	7.44
過去3年間	-	-
設定来	12.85	-2.14

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。  
 ※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は、「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料5頁をご参照下さい。

### 【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
11,285 円	11,285 円	3.91 億円



※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料5頁をご参照下さい。  
 ※基準価額は、信託報酬等控除後です。  
 ※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。  
 ※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 【資産配分】

資産種類	比率
株式	99.0%
投資信託証券	0.0%
その他株式関連証券	0.0%
現金その他	1.0%
合計	100.0%

### 【業種別配分】

業種	比率
資本財	20.2%
半導体・半導体製造装置	16.2%
素材	12.5%
ソフトウェア・サービス	11.1%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.7%
ヘルスケア機器・サービス	8.9%
メディア・娯楽	8.2%
自動車・自動車部品	5.8%
食品・生活必需品小売り	3.0%
食品・飲料・タバコ	2.5%
合計	99.0%

\* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

### 【組入れ上位 10 銘柄】(銘柄総数:26銘柄)

No	銘柄名	業種	組入比率
1	Leeno Industrial Inc.	半導体・半導体製造装置	9.6%
2	DOUZONE BIZON CO.LTD	ソフトウェア・サービス	9.4%
3	CS Wind Corp.	資本財	9.0%
4	Suheung Co. Ltd.	ヘルスケア機器・サービス	7.2%
5	JYP Entertainment Corp	メディア・娯楽	5.5%
6	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	資本財	5.2%
7	Boryung Pharmaceutical Co., Ltd.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.9%
8	CHUNBO CO.,LTD.	素材	4.2%
9	Systems Technology, Inc.	半導体・半導体製造装置	3.7%
10	T.K. Corp	資本財	3.7%

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。  
 ※比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

**※ 当資料のご利用に当たっては、次ページ以降の注意事項を必ずお読み下さい。**

# スパークス・韓国株ファンド (愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート  
基準日 2020年7月31日

## 組入上位銘柄の概要

No	銘柄名	銘柄概要
1	Leeno Industrial Inc.	リノ工業(LEENO Industrial Inc.)は、プリント基板・半導体IC検査機器用の部品メーカー。プリント基板検査用ピン、半導体チップ検査用ソケットなどを手掛ける。
2	DOUZONE BIZON CO.LTD	ダゾンビズオン(DuzonBizon Co., Ltd.)は、ソフトウェア開発会社。中小企業向けの会計プログラム、ERP(基幹系情報システム)、クラウドサービス、グループウェア、電子税金計算書など、企業インフラに必要なITソリューションを提供。
3	CS Wind Corp.	CSウインド(CS Wind Corporation)は風力発電機向け支柱の大手メーカー。各国の主要風力タービンメーカーとも緊密な関係を持ち、ベトナム、中国、カナダ、英国、マレーシアなどに事業を展開。
4	Suheung Co. Ltd.	ソフン(Suheung Co., Ltd.)は、医薬品業界向けにゼラチン製のハードカプセルとソフトカプセルなどのメーカー。健康・栄養食品とハードカプセル充填機も手掛ける。
5	JYP Entertainment Corp	JYPエンタテインメント(JYP Entertainment Corp)は、総合エンターテインメント会社。アーティストの発掘・育成、音楽制作を伴うエンターテインメント活動の管理などを手掛ける。所属アーティストの海外進出に積極的。
6	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	慶東ナビエン[キョンドン・ナビエン](Kyung Dong Navien Co., Ltd.)は、ボイラーなどのメーカー。オイルボイラー、ガスボイラー、冷凍機、ヒーター、パイプ、シンク、ガス検知器などを手掛ける。
7	Boryung Pharmaceutical Co., Ltd.	ポリヨン・ファーマシューティカル(Boryung Pharmaceutical Co., Ltd.)は医薬品メーカー。高血圧治療薬、抗ウイルス薬などを手掛ける。
8	CHUNBO CO., LTD.	チュンボ(Chunbo Co.,Ltd)は化学品メーカー。同社製品は、ディスプレイ、半導体、二次電池、医薬品などに用いられる。
9	Systems Technology, Inc.	システムズ・テクノロジー(Systems Technology Inc.)は、半導体製造設備メーカー。半導体・ディスプレイのフロントエンドプロセス全自動システムとして使用される中央薬液供給システム(CCSSs)や液晶ディスプレイ(LCD)パネル洗浄用洗浄剤などを手掛ける。
10	T.K. Corp	TKコーポレーション(TK Corporation.)は、パイプ継手メーカー。発電、ガス、オイル、石油化学、淡水プラント建設などの産業用施設の各種パイプ連結に使われる配管継手類(Fitting)製品などを手掛ける。

※上記記載は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

# スパークス・韓国株ファンド

## (愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2020年7月31日

### コメント

#### ■市場環境

当月、KOSPI（韓国総合株価指数、韓国ウォンベース）は前月末比6.69%上昇し、新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以来の6ヵ月間で最高水準に達しました。同指数の6月末時点での年初来パフォーマンスは-4.07%でしたが、7月末時点では同2.35%まで上昇しました。

米国では新規感染者数が引き続き増加していますが、新型コロナウイルスワクチン開発に関するニュースが複数流れたこと、各国政府が景気刺激策を発表したことで、投資家の信頼感が高まりました。米国の景気刺激策やEU（欧州連合）の復興基金計画など、経済活動の正常化に向けた措置によって市場の信頼感が増し、リスク資産を愛好する気運が高まった形です。米ドルが下落基調にあることから明らかなように、新興国市場のリターンが先進国市場を上回る傾向が見られます。

#### ■運用状況

当月、当ファンドは前月末比14.28%上昇しました。一方、KOSPI（韓国ウォンベース）をもとに当社が円換算した「KOSPI（韓国総合株価指数、日本円ベース、参照レートはロンドン時間午後4時のWMロイターレート）」は、同5.56%上昇しました。

当月は、GS Wind（資本財）、Suheung（ヘルスケア機器・サービス）、JYP Entertainment（メディア・娯楽）、Leeno Industrial（半導体・半導体製造装置）などがパフォーマンスに貢献した一方、Korea-FuelTec Corporation（自動車・自動車部品）、GS Retail（食品・生活必需品小売り）、Ssangyong Cement Industrial（素材）などがマイナスに影響しました。

当月は、S&T Holdings（自動車・自動車部品）を全売却し、Tokai Carbon Korea（半導体・半導体製造装置）を新たに組み入れました。組入上位銘柄に大きな変更はありませんでした。

当月は、当ファンド組入銘柄の「JYP Entertainment」と「Tokai Carbon Korea」について、ご紹介します。

#### JYP Entertainment

同社は韓国最大級のエンターテインメント企業です。同社のNizi Project（虹プロジェクト）は、2年にわたるメンバー選考過程を経て、6月26日に公開されました。同社は、日本の(株)ソニーミュージックエンタテインメントと共同で「Nizi Project」というオーディション番組を制作しており、その中では女性練習生たちが日本の次世代女性グループとしてデビューするメンバーの座を競い合いました。全員が日本人で構成されたK-POP女性グループ「NiziU」が番組の中で誕生し、ファーストシングル『Make You Happy』が6月30日にリリースされました。この曲は大ヒットし、日本のオリコンチャートの三つのカテゴリーで1位に輝きました。また、日本のその他音楽チャート、中国の「QQ音楽」など、世界各国のチャートでも1位を獲得しました。

#### Tokai Carbon Korea

同社は韓国企業のKC Group社と東海カーボン(株)によって設立された合弁会社で、東海カーボン(株)は同社の発行済株式の44%を保有しています。同社は半導体プロセス材料として用いられるシリコンカーバイドリング（CVD-SiC Ring）を製造していますが、これはウェハの外輪に取り付けてウェハを固定するためのものです。ウェハの表面にイオンガスを含有するプラズマガスを噴射してエッチングを行うことをドライエッチング加工といいます。このリングはドライエッチングプロセス中にウェハを破損から保護し、動作を安定させる上で重要な役割を果たしています。注目したいのは、半導体のエッチング技法がより高度なものへと進化してきており、それに伴ってシリコンカーバイドリングの需要が拡大しているという点です。エッチング加工の高度化と頻度の増大によってシリコンカーバイドの摩耗が進み、交換の必要が増すことによって、コストが上昇します。各メーカーはこれまで、生産コストを抑制しようと、より寿命の長いリングを選ぶという方法を選んできました。従来はシリコンだけでできたリングが広く使用されていましたが、プラズマへの耐性があり、不純物や粒子が混入していないシリコンカーバイドリングの開発によって、潮流が変わりつつあります。同社はシリコンカーバイドリング市場の80-85%世界シェアを持っており、技術の進歩によって参入障壁が高まっていることから、現在のポジションを長期にわたって維持できるとみられます。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

# スパークス・韓国株ファンド

## (愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2020年7月31日

### コメント

(前ページより)

当ファンドの組入銘柄のファンダメンタルズは、依然として損なわれていないと私どもは考えていますが、今後も慎重に注視し、投資目的との整合性を保っていく方針です。当ファンドは、韓国における事業の魅力と構造改革だけを原動力に持続的かつ長期的な成長を遂げると考えられる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいります。

#### ■今後の見通し

韓国の文在寅大統領は7月14日、「デジタルニューディール」と「グリーンニューディール」を二本柱とする韓国版ニューディール政策の総合計画を発表しました。同計画は2025年までに160兆ウォン=約14兆円（国家予算は114.1兆ウォン=約10兆円）を投資して、190万人の雇用を創出することを目指しています。韓国政府が世界各国政府の取組みに同調し、こうした政策の実行に積極的に取り組んでいることは心強い限りです。

そこで、ここでは今回の危機は過去の金融危機とどこが最も違うかについて考えたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大によって生まれた今回の危機は、金融市場のパラダイムを完全に覆してしまいました。これまで発生した金融危機とは、銀行セクターの危機に他なりません。金融危機の間では融資資金の流動性が失われたために、銀行が最後の拠り所として経済を支える役割をほとんど果たせなくなりました。各国政府と中央銀行は量的緩和と利下げを通じて企業に投資を促しました。しかし、企業は「利益を追求する存在」なので、危機中に投資を行う動機がありません。危機中には資金需要がないからです。一方で、銀行側も信用の低い企業への貸出にはこの足を踏むものです。たとえ流動性が十分だったとしても、それは変わりません。危機によって貸出と投資が困難になり、銀行と企業が苦境に陥り、景気はますます後退しました。

しかし今回は状況が異なります。韓国政府は迅速に対応し、量的緩和を通じて直接的に流動性を供給しました。政府が銀行に資金を供給する代わりに、緊急災害救済金を通して自営業者や中小企業を支援し始める一方で、中央銀行は社債を購入しています。従来と異なり、政府は直接投資を通じて雇用を創出することで、企業の負担を取り除いています。政府はこうした投資や財政支出を通じて雇用が創出され、その直接的、間接的な影響によって、生産拠点の国内回帰やデジタル変革、グリーンニューディールが進むことを期待しています。

今回の危機でより注目すべきなのは、企業業績の低調さや経済活動の停滞よりも、韓国政府が従来と大いに異なるスタンスで対策を取っている点です。こうした大きな変化は過去には見られなかったものです。各国政府が過去の経験を踏まえてどんな対応を取るべきかを学んでいたために、株式市場の正常化に要する時間が過去の危機より短期間で済んだと私どもは考えています。

個別銘柄選択の重要性には、今後さらに注目が集まるでしょう。経済が「難しい状況」にある時期には優良企業とそれ以外の企業間に大きな格差が発生する可能性があります。

当ファンドの投資対象企業は優秀な経営陣、健全なバランスシート、競争力を備えているため、今回の危機収束後には強さに磨きがかかり、リーダーシップは一層強固になると考えられます。私どもは、経済状況に関わりなく、独自の健全な集中型ポートフォリオによって一貫した収益を生み出し、ファンダメンタルズの分析を通じて優れた企業を発掘し続けられるよう、今後も努力を続けてまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

### ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・韓国厳選投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

### ファンドの特色

#### 1. マザーファンド受益証券を通じて、韓国の優良企業に投資します。

- ◆ ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。
- ◆ 参考指数は KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)※とします。  
ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。  
※「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」は、KOSPI(韓国ウォンベース)をもとに委託会社が円換算したものです。

#### 2. 厳選投資します。

ベンチマークは設けず、銘柄を厳選して投資します。(特化型)

※当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

#### 3. 長期保有します。

原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

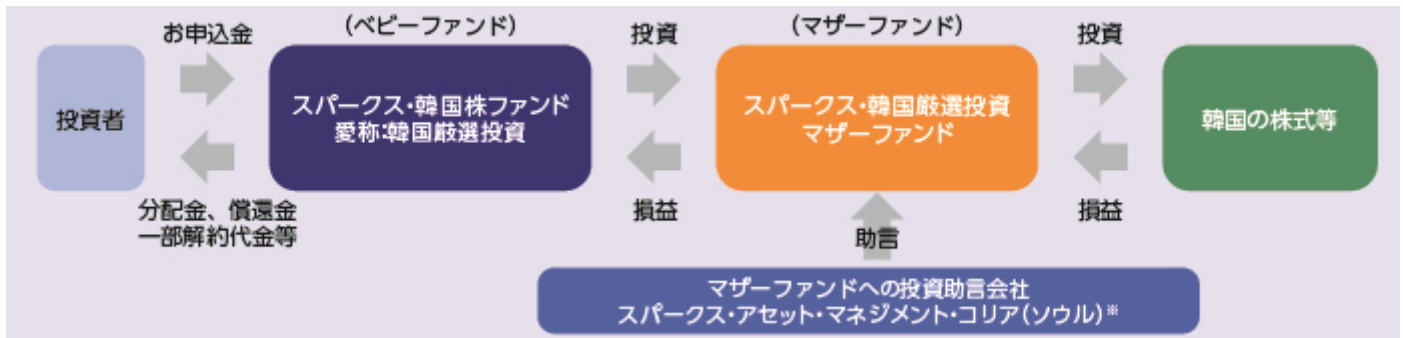
マンスリーレポート

### ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式<sup>※</sup>により、韓国の株式等へ実質的に投資を行います。

当ファンドが投資を行うマザーファンドについては、スパークス・アセット・マネジメント・コリア(ソウル)の韓国株式運用チームの投資助言を受け、当社のファンド・マネージャーが投資判断いたします。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金(ベビーファンド)をマザーファンドに投資し、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※ スパークス・アセット・マネジメント・コリアは韓国ソウルに拠点を置くSPARXグループの一員であり、韓国でのボトムアップ・リサーチによる投資活動を強みとする会社です。また、リスク管理およびプロセスにも重点を置いており、それらを独立した組織として運営しています。

### スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて内外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

#### 価格変動リスク

当ファンドは、実質的に海外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

#### カントリーリスク

一般的に海外の株式などに投資する場合、投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化等により金融・証券市場が混乱して株式などの価格が大きく変動する可能性があり、基準価額が大きく下落する要因となります。また、新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

#### 為替変動リスク

外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

#### 集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

#### 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

#### その他の留意事項

##### ●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド  
愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

**お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

ファンド名	スパークス・韓国株ファンド(愛称:韓国厳選投資)
商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限(2018年12月21日設定)
決算日	毎年12月18日(休日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、取得のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
ご解約不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、解約のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。

**お客様にご負担いただく手数料等について**

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

**【お申込時】**

■お申込手数料: お申込受付日の翌営業日の基準価額に **3.3%(税抜 3.0%)**を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

**【ご解約時】**

■信託財産留保額: なし

■解約手数料: なし

**【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)**

■信託報酬: 純資産総額に対して **年率 1.804%(税抜 1.64%)**

■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率0.11%(税抜0.10%))

(2) マザーファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を、信託財産でご負担いただきます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

## スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

### ファンドの関係法人について

●委託会社 **スパークス・アセット・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号  
(加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 **三井住友信託銀行株式会社**

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。

●販売会社 **下記一覧参照**

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第140号	○	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第346号	○		○	○

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。